

# 東京医学会

東京医学会 第 2492 回集会

日時：平成 21 年 7 月 6 日（月） 16：00～17：00

場所：医学部二号館（本館） 1 階 小講堂

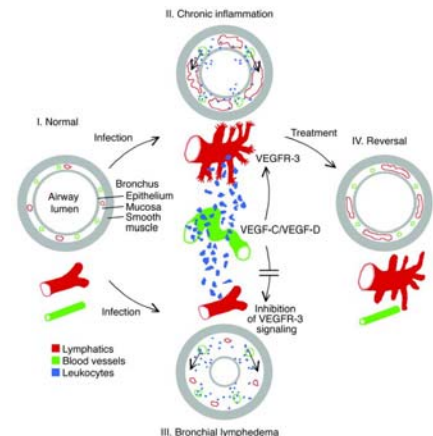
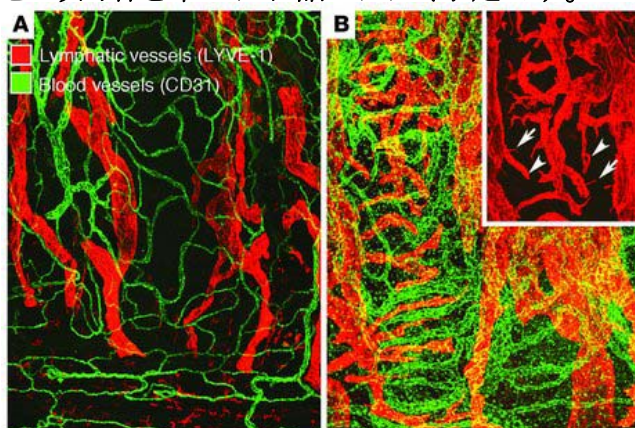
演者： Peter Baluk 博士 University of California, San Francisco (UCSF), USA

演題： Mechanisms of vascular remodeling in inflamed airways

紹介： Peter Baluk 博士は、UCSF における血管研究で有名な D. McDonald 教授とともに長く活動されており、数多くの血管、リンパ管に関連する研究を発表されています。最近の有名な研究としては、リンパ管内皮細胞間のジャンクション構造を明らかにした Functionally specialized junctions between endothelial cells of lymphatic vessels. J. Exp. Med. 204(10):2349-62 (2007)があります。

今回は、Baluk 博士が 2005 年に J. Clin. Invest 誌に発表された、病原体によるマウス気道慢性炎症モデルにおける血管・リンパ管の新生やリモデリング（下記図、左 A は正常、B は炎症時の血管とリンパ管、右は概念図）のメカニズムについて、その後の展開と最近の知見をお話しいたします。

マウス気道に *Mycoplasma pulmonis* を感染させることにより、気道・肺の血管やリンパ管には長期にわたる大きな変化が生じ、白血球の接着と遊走を助けるようになります。この脈管の炎症性変化を引き起こすきっかけとして、今回、これまで注目されてきた VEGF ファミリーよりは、TNF  $\alpha$  シグナルが強く関係していることが明らかにされてきた、という内容を中心にお話いただく予定です。



主催：東京医学会

共催：分子病理学教室・グローバル COE プログラム

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」